様式第１号（第７条関係）自費解体

記載例

受付No.		号

住民登録をしている住所を記載してください。

自費解体・撤去に係る償還申請書

令和　●年　●月　●日

申請者（解体・撤去の契約者）　※太枠内を記

代理人が申請する場合でも申請者欄は記載してください。

申請者	住所１	〒８６９－４８１４ 氷川町島地６４２番地		
	フリガナ 氏　名	氷川（ひかわ）　太郎（たろう）	電　話	自宅（　　）　－ 携帯（●●●）●●●－●●●
	生年月日	（大・昭・平・令　●年　●月　●日生）		
代理人※２	住所２	〒		
	フリガナ 氏　名			－
	申請者との関係	□配偶者　□		
連絡先	※決定通知等の送付先になります　□申請者と同じ　□代理人と同じ			
	住所３	〒		
	フリガナ 氏　名			

代理人の方が手続を行われる場合のみ記載してください。

①　申請者又は代理人と同じ場合はチェックしてください。
②上記以外の方が手続きを行われる場合のみ記載してください。

※１：法人の場合は代表者氏名
※２：申請者本人の場合は記載不要

私は、令和８年熊本地震により被災した下記の被災家屋等について、その全部又は公費解体を前提として家屋等を解体すること及び当該解体により生じた廃材等の撤去・処理を業者に委託しましたので、その委託に要した費用についての償還を申請します。

記

被災家屋等の解体・撤去の概要　※太枠内を記入してください。

り災場所	氷川町島地６４２番地 （アパート、ビル等の場合、名称　　）
所在地番	氷川町〇〇
対象家屋等	１　住家　☑全壊（１棟）□大規模半壊（　棟）□中規模半壊（　棟）□半壊（棟） ２　空き家　☑全壊（１棟）□大規模半壊（　棟）□中規模半壊（　棟）□半壊（棟） ３　土砂混じりのガレキ　☑なし　□あり
家屋の現況	☑全部を解体・撤去済　□その他（　　）
契約日	令和　〇　年　〇　月　〇　日
支払金額 （消費税込）	〇，〇〇〇，〇〇〇　円

裏面あり

償還申請に係る同意

償還申請を行うに当たり、以下の６点について同意します。

１　償還の対象となるのは、原則、り災証明書または被災証明書にて『全壊』『大規模半壊』『中規模半壊』『半壊』と判定された家屋等の全部又は公費解体を前提として家屋等を解体することを業者に委託し、解体により生じた廃材等の撤去・処理を行った場合です。
※単に家屋の一部を解体し、解体により生じた廃材等の撤去・処理を行った場合は、対象となりません。

２　償還額は、氷川町が定めた基準により算定した額となりますので、解体業者等への支払金額を下回ることがあります。

３　償還の対象は、家屋等及び家屋等と一体として解体を行ったもののうち、氷川町が解体・撤去が必要と認めるものです。

４　被災家屋等の解体・撤去及び償還申請に関して、所有者、関係権利者や近隣住民との紛争が生じた場合は、申請者がその責任において解決します。

５　氷川町が、償還に関する事務を行うために必要な範囲で、解体・撤去した当該家屋等の固定資産税の評価及び賦課に関する情報を閲覧・照会することに同意します。

６　本申請書に記載された個人情報その他の情報については、氷川町の本事業に関与する事業者に提供することに同意します。

（注記）
■代理人による申請の場合は、申請者の委任状を添付してください。
■申請の際に、運転免許証など本人確認ができる書類の確認・複写をします。

申請者　　氷川　太郎

申請者の方が
署名又は記名押印をお願いします。